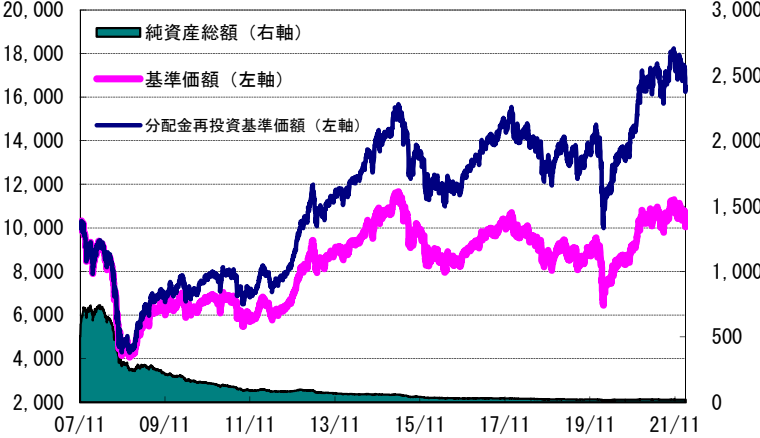


スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

基準日 2022年02月28日

基準価額および純資産総額の推移



* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2007年11月30日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額	10,206円
純資産総額	18.63億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	97.5%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.5%
現金等	2.0%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額		-262円	
内訳	株式等	アジア太平洋地域	-172円
		中東地域	-9円
	為替		80円
	その他		-161円

* 金額は対象期間における基準価額(分配金込み)の変動を表したものです。
* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-1.56%	-4.85%	-0.75%	-2.69%	20.70%	65.02%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

分配金実績(税引前)

決算期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期
	20/3/10	20/5/11	20/7/10	20/9/10	20/11/10	21/1/12	21/3/10	21/5/10	21/7/12	21/9/10	21/11/10	22/1/11
分配金	45円	45円	45円	45円	45円	45円	30円	30円	30円	30円	30円	30円

分配金累計	直近12期計	設定来合計
	450円	3,765円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	台湾	25.8%	93.2%
	香港	18.2%	
	中国	15.3%	
	オーストラリア	10.5%	
	その他	23.4%	
中東	UAE	2.5%	3.2%
	サウジアラビア	0.7%	
現金等	—	3.6%	3.6%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	香港ドル	31.8%
2	台湾ドル	26.8%
3	オーストラリアドル	10.9%
4	韓国ウォン	6.8%
5	インドルピー	6.7%
	その他	17.0%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	29.6%
2	金融	19.4%
3	一般消費財	13.5%
4	コミュニケーション	12.6%
5	資本財	12.0%
	その他	12.9%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

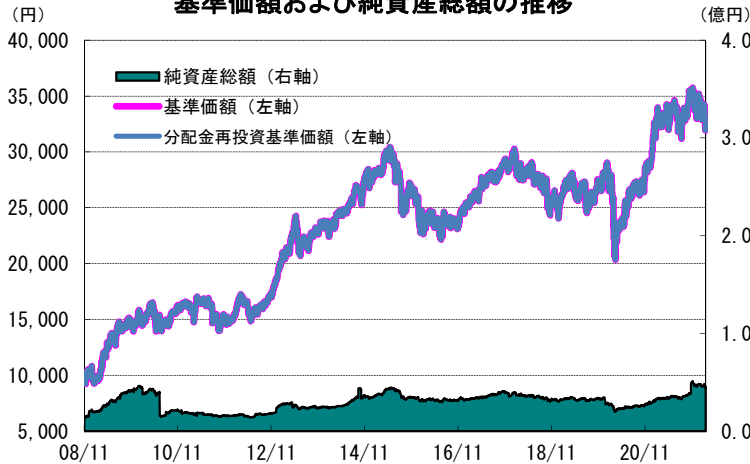
* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

基準日 2022年02月28日

基準価額および純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
 * 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-1.49%	-4.73%	-1.44%	-3.24%	19.36%	224.20%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 * 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2008年11月12日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年11月10日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額	32,420円
純資産総額	0.45億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	94.9%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	5.1%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)

基準価額変動金額		-492円
内訳	株式等	-337円
	アジア太平洋地域	-337円
	中東地域	-17円
	為替	157円
	その他	-295円

* 金額は対象期間における基準価額の変動を表したものです。

* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
	12/11/12	13/11/11	14/11/10	15/11/10	16/11/10	17/11/10	18/11/12	19/11/11	20/11/10	21/11/10
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

分配金累計	直近10期計	設定来合計
	0円	0円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	台湾	25.8%	93.2%
	香港	18.2%	
	中国	15.3%	
	オーストラリア	10.5%	
	その他	23.4%	
中東	UAE	2.5%	3.2%
	サウジアラビア	0.7%	
現金等	-	3.6%	3.6%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	香港ドル	31.8%
2	台湾ドル	26.8%
3	オーストラリアドル	10.9%
4	韓国ウォン	6.8%
5	インドルピー	6.7%
	その他	17.0%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	29.6%
2	金融	19.4%
3	一般消費財	13.5%
4	コミュニケーション	12.6%
5	資本財	12.0%
	その他	12.9%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
 * 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
 P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
 ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2022年02月28日

組入上位銘柄

組入銘柄数	40
-------	----

NO	銘柄名	Pnote	国・地域	業種	組入比率	配当利回り
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	情報技術	7.5%	2.0%
2	AIA Group Ltd		香港	金融	7.2%	1.9%
3	MediaTek Inc		台湾	情報技術	7.0%	7.5%
4	eMemory Technology Inc		台湾	情報技術	6.6%	1.1%
5	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	情報技術	5.4%	2.0%
6	Tencent Holdings Ltd		中国	コミュニケーション・サービス	5.1%	0.5%
7	China State Construction International Holdings Ltd		香港	資本財・サービス	4.3%	4.0%
8	Transurban Group		オーストラリア	資本財・サービス	3.7%	3.2%
9	Telkom Indonesia Persero Tbk PT		インドネシア	コミュニケーション・サービス	2.9%	4.1%
10	Kweichow Moutai Co Ltd		中国	生活必需品	2.8%	1.2%

* 上記の銘柄の中には現株を含みます。
 * 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 * 上記銘柄については将来の組入を保証するものではありません。

* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * 配当利回りは12ヶ月配当利回り(税引前)です。
 * 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

地域別組入上位銘柄の概要

アジア・太平洋地域

アジア太平洋	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	台湾積体回路製造 [TSMC/台湾セミコンダクター] (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd.) は半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社の IC (集積回路) はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。
2	AIA Group Ltd		香港	友邦保険控股 [AIAグループ] (AIA Group Ltd.) は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。
3	MediaTek Inc		台湾	聯発科技 [メディアテック] (MediaTek Inc.) は、無線通信およびデジタルマルチメディア・ソリューションのファブレス半導体メーカー。無線通信、高解像度テレビ、光ディスク、DVD、ブルーレイ製品向けのSOCシステムソリューションを提供する。
4	eMemory Technology Inc		台湾	力旺電子 [eメモリー・テクノロジー] (eMemory Technology, Inc.) は、ロジック不揮発性メモリー技術を研究開発し、同社の知的財産を、世界各国の半導体メーカー、集積デバイスメーカー (IDM)、ファブレスデザインハウスなどにライセンスを供与。
5	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	サムスン電子 (Samsung Electronics Co., Ltd) は電子機器・電気製品メーカー。半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビなどをはじめとする民生用ならびに産業用電子機器・製品を製造、販売。エアコン、電子レンジなどの家電製品や、インターネット・アクセス・ネットワーク、携帯電話などの通信機器システムも製造する。

中東地域

中東	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	First Abu Dhabi Bank PJSC		UAE	ファースト・アブダビ・バンク (First Abu Dhabi Bank PJSC) は銀行。預金、個人向けローン、eバンキング、貿易金融、外貨取引、その他の銀行サービスを手掛ける。世界各地で事業を展開。
2	Saudi British Bank/The		サウジアラビア	サウジ・ブリティッシュ・バンク (Saudi British Bank) は、預金業務、リテールおよびコマース・バンキング・サービスを提供。消費者・シンジケートローン、仕組み債、プロジェクト金融、証券仲介、ファイナンシャル・プランニング、プライベート・バンキング、ミューチュアルファンド、ファクタリング、財務サービスなどを手掛ける。

* 上記は個別銘柄の取引を推奨するものではありません。
 * 上記銘柄については将来の組入を保証するものではありません。
 * 出所: 各社ホームページ

* 上記はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドの組入上位銘柄です。
 * ADRとは主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことであり、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型) マンスリーレポート

基準日 2022年2月28日

■市場環境

《アジア株式》

当月、アジア株式のパフォーマンスはまちまちでした。日本を除くアジア太平洋市場に使用される一般的な指数であるMSCIアジア太平洋(日本を除く、米ドル建て)指数は、下落して月を終えました。

世界の株式市場では年初からの下落基調が続きましたが、その要因となったのはFRB(米国連邦準備制度理事会)による利上げが予想より早まるという観測が流れたこと、ロシアとウクライナの地政学的対立が激化したことでした。ロシアとウクライナの対立が深刻化すると供給や物流の混乱が悪化する可能性があることから、原油価格が急騰し、コモディティ価格も上昇しました。エネルギーセクターと素材セクターは好調でしたが、グロース銘柄は引き続き低調でした。

中国では、インターネット関連分野の政策リスクが依然として拭えません。食品配送プラットフォーム企業であるMeituan Dianping社(中国)は当月手数料を引き下げ、新型コロナウイルスによる都市封鎖の影響で事業が低迷している業者を支援するようという要請を政府から受けました。好材料と思われるのは、経済と不動産市場が軟調となる中で、不動産セクターへの締め付け政策が緩和しつつあるように見受けられることです。必要があれば金融緩和の余地が多少あることを鑑みると、インフレ率は依然として低水準です。

ASEAN諸国の株式市場は当月、マレーシア、インドネシア、タイを中心に、比較的堅調に推移しました。これらの国では経済活動が再開し、コロナ禍から回復しつつあります。一方、香港では新型コロナウイルス新規感染者数が大幅に増加し、小売活動が軒並み厳しく制限されています。ハンセン指数のパフォーマンスは、アジア地域の株価指数の中でも最低水準でした。

《中東株式》

当月、中東株式市場は、アラブ首長国連邦を中心に、概ね堅調に推移しました。ロシアとウクライナの地政学的緊張が高まったため、原油価格が上昇しました。

《通貨》

当月、アジア地域の通貨は、対日本円でまちまちの値動きをみせました。特にオーストラリアドル、タイバーツ、中国人民元などが対日本円で上昇し、インドルピー、台湾ドルなどが対日本円で下落しました。

■運用状況

《アジア株式》

当月、当ファンドが保有する株式のリターンは、マイナスとなりました。

セクター別では、資本財セクターなどがプラスに貢献し、一般消費財セクター、コミュニケーション・サービスセクター、金融セクターなどがマイナスに影響しました。

国別では、オーストラリア、インドネシア、タイなどがプラスに貢献し、中国、インド、香港などがマイナスに影響しました。

個別銘柄では、eMemory Technology(台湾/情報技術)、China State Construction International Holdings(香港/資本財)、Advanced Info Services(タイ/コミュニケーション・サービス)などがプラスに貢献しました。一方で、Tencent Holdings(中国/コミュニケーション・サービス)、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company(台湾/情報技術)、Haier Smart Home(中国/一般消費財)などがマイナスに影響しました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型) マンスリーレポート

基準日 2022年2月28日

当月のパフォーマンスにプラスに貢献した銘柄の一つに、China State Construction International Holdings(香港/資本財)があります。同社は中国国営のインフラ建設会社で、香港やマカオのインフラプロジェクトから長年にわたって強力がかつ安定したキャッシュフローを創出しています。同社はさらなる成長と利益率拡大を求め、10年以上の年月をかけて中国本土に事業を拡大してきました。国営企業ではありますが、香港市場に上場しており、①財務の柔軟性(香港でも中国本土でも資金を調達可能)、②現地情報を生かした中国本土のプロジェクト選別能力という2つの差別化要因により、競合他社に対する優位を保っています。

同社は当月、アナリスト説明会で2022年業績について良好な見通しを示しました。新規契約獲得額は全地域(中国本土、香港、マカオ)で増加し、前年比14%増の1,600億香港ドル(約2兆3千億円)となる見込みです。過去2年間の厳格なキャッシュフロー管理やキャッシュサイクルの積極的な短期化が奏功し、営業キャッシュフローは従来予想より2年早い2022年に黒字化を達成する見通しです。キャッシュフローの改善を受け、同社に対する市場の評価は大幅に高まりました。

同社の強みの1つは、プレハブ建設において優位な立ち位置にあることです。同社の高度なモジュラー統合建築(MiC)技術は、過去2年間に手がけた数件のプロジェクトが高い評価を得たことで、急速に認知度を高めました。2022年2月には香港で新型コロナウイルス感染者数が急増したことから、香港政府の緊急要請を受け、1万戸以上の隔離施設の建設を進めています。この施設は7~21日以内で完工して香港政府に引き渡されており、同社の実務能力のすばらしさを示す証拠といえます。同社のブランド力とリーダーシップは今回の事例でさらに高まり、将来的な受注拡大につながると当ファンドは考えています。

同社は今後数年にわたって、香港政府が手がけるインフラや住宅の開発計画に積極的に参加するでしょう。香港政府は今後10年間で公共住宅新築戸数を倍増し、香港北部を新たな都市圏として開発する計画です。香港で大きな市場シェアを持つインフラ建設企業の一角として、同社はこの大規模支出の恩恵を受ける立場にあると考えます。

中国政府が比較的低価格な住宅の提供や、都市再生プロジェクトを加速していることから、中国本土における同社の成長も下降線を描くことはないでしょう。中国ではガイドラインを作成することで、住宅やインフラ関連のプロジェクトにおけるプレハブ技術の利用を促進しようとする都市が増加しています。そうすることで環境に対する負荷が減り、工期の大幅短縮も可能になるためです。同社経営陣は、香港における豊富な実績と経験を生かすことで、そうしたプロジェクトの多くに参加できると考えています。

同社の株価は過去6か月間で60%強上昇しています。同社の現在のバリュエーションはPER(株価収益率)が約7.5倍、配当利回りは約3.7%です。キャッシュフローが改善し、高い技術力を生かした新規契約獲得が続けば、同社は今後も当ファンドに魅力的なリターンをもたらすと考えられます。

当ファンドは引き続き既存の投資先を注視し、また今後の投資先候補の企業に関する調査も継続することで、優れたビジネスモデル、良好なバランスシート、平均以上の配当性向、持続的な成長見通しを備えた「優良企業」を選別してまいります。優良企業で構成される分散ポートフォリオは投資家に長期的なリターンをもたらすと、当ファンドは考えます。

《中東株式》

当月は、First Abu Dhabi Bank(アラブ首長国連邦/金融)がプラスに貢献した一方、Saudi British Bank(サウジアラビア/金融)はややマイナスに影響しました。当ファンドは依然として、コロナ禍が収束すれば景気が改善し、企業と消費者の支出が回復すると予想しています。さらに、法人向け融資の比率が高く、預貸率が低い銀行は、金利上昇トレンドの

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型) マンスリーレポート

基準日 2022年2月28日

恩恵を受けると考えられます。

《通貨》

当月、アジア地域と中東地域の通貨は、対日本円でまちまちの値動きとなり、当ファンドのリターンにややマイナスに影響しました。

■今後の見通し

短期的にみると、ロシアとウクライナの紛争に由来する地政学的リスクが市場の動向を左右し、原油価格とコモディティ価格は比較的高水準で推移するでしょう。世界的なサプライチェーンの混乱は、海上封鎖によって悪化する可能性があります。ロシアの銀行システムに対する制裁も、金融システムが不安定化する要因となる恐れがあります。インフレはさらに加速する見込みで、金融政策をより積極的に引き締めインフレを抑制する必要があるかもしれません。

当ファンドはロシアとウクライナの紛争から直接的な影響を受ける銘柄(収益面で影響を受ける銘柄)の組み入れを最小限に抑えています。紛争が長期化すれば、投入コスト(原材料費、物流費など)の高騰によりおそらく間接的な影響を受けることになるでしょう。しかし、組入銘柄の大半は価格決定力が強く、財務体質が健全であることから、この一時的な逆風を凌ぐことができると当ファンドは考えています。

長期的にみると、利益成長、業界の潜在性、経営陣の能力といったファンダメンタル的な要素が、次なる優良銘柄を見極めるための主要指標になると思われます。当ファンドは引き続き、アジアにおける優れた投資機会はテクノロジー、消費、金融、インフラといったセクターにあるとみています。Taiwan Semiconductor Manufacturing Company(台湾/情報技術)、AIA Group Ltd(香港/金融)、Tencent Holdings(中国/コミュニケーション・サービス)といった当ファンドの主要組入銘柄の多くは、これまで何度もマクロイベントを経験し、最終的にはより強力な企業へと進化しています。

アジア地域には、引き続き長期的な投資機会が潤沢にあります。当ファンドの目的は、配当収入とキャピタルゲインを通じて長期的にリターンを上げることにあります。当ファンドのポートフォリオはバランスがとれており、短期的なマクロイベントやスタイル・ローテーションにも耐えることができると、当ファンドは考えています。当ファンドは、グロース株、バリュース株、その他の分類といった市場認識に関係なく、キャッシュフローまたは配当金を生成する能力がある企業のファンダメンタルズを重視しています。アジア経済の興隆とアジア企業の地位向上という長期的な投資テーマは健在で、今後も続くと考えられます。当ファンドは、「信頼できる企業」への投資を継続しつつ、当ファンドが選好する「次の優良成長企業になる潜在性を示しているアジア地域の新興企業」の発掘に努めます。

《中東株式》

中東株式市場はこの一年間、堅調に推移しました。各国政府の景気刺激策とコロナ禍後の経済再開によって成長が下支えされるため、この勢いは継続すると考えられます。当ファンドは、金融セクターの保有銘柄を引き続きポジティブに見ています。

《通貨》

通貨は短期的には資本フローの影響によって大きく変動すると思われませんが、長期的には、アジア地域および中東地域の経済のファンダメンタルズに力強さがみられることから、両地域の通貨は対日本円で上昇すると、当ファンドは考えます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。